

有料版

輸出相場版

ユーストカー NEWS

2月号

毎月1日発行

創刊4号 定価 2,000円(税・送料別途)
本社 東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階
☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
本紙の無断転載・複製を禁じます

購読・広告のお申し込みは

☎03-3371-9340

発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム

輸入STOP 継続中!!

どうなる? パキスタン



輸出台数は昨年1~11月の累計7万5000台規模、台数別中古車輸出先第5位のパキスタンで昨年10月に突如発生した中古車の輸入レギュレーション変更の噂に起因する買い控え。本紙は昨年12月号で第一報をお伝えしたが、その後も中古車輸出が再開される気配は見えない。パキスタンでなにが起こっているのか。そして今後、中古車輸出は復活するのか。大量の中古車が港に滞留している首都・カラチで取材した。



パキスタン・カラチ港の倉庫で埃を被っている日本からの輸入車たち

緊急情報 輸入STOP 継続中
パキスタン
カラチ港現地取材

詳しくは2面へ

総力分析 ニューージーランド
「横滑り防止装置義務化拡大」
要注意対象車一覧

詳しくは14面へ

徹底調査 モンゴル貿易銀行の
中古車輸出
サポート事業

詳しくは16面へ

パキスタンの中古車の輸入が止まった。編集部には第一報がもたらされたのは昨年10月後半のこと。聞けば、同国の代表的な国際貿易港、カラチ港で荷揚げされたまま行き場を失った日本の中古車が大量に滞留しているという。だが、現地の報道は少なく、日本にあつては中古車輸出関係者の話で断片を知ることしかできない。このため本紙は年明けに特派員を派遣、状況を探った。明らかに変わったカラチ港の現状は、聞きしに勝る混乱ぶりだった。大手海運会社のヤードや倉庫には、陸揚げされた日本車がたくさん狭しと並んでいる。敷地内に置ききれない車は港内の通路や橋も占拠。それも縦列駐車ではなく、駐車台数を稼ぐため左右に車庫入れ状態に向かい合せて置かれているのだ。それぞれの車は早くも分厚い砂や埃に覆われている。加えて、絶えず塩分と直射日光にさらされていることを考えると、車にとって非常に苛酷な環境だ。滞留している台数は、1月中旬時点で約7000台。今号が発行される頃にはカラチ港の陸揚げ車保管の限界といわれる9000台規模に達するという。(続きは2面へ)

本紙ユーストカーNEWS輸出相場版の掲載車両、
売る秘訣は アライオートオークションにあり!

成約率高↑ 海外バイヤー参加率高↑ 全国各地に出品ヤード 利便性高↑

荒井商事株式会社 アライオートオークショングループ
仙台会場 | 宮城県川部大和町宮床森の腰135-1 TEL.022-346-2101 / FAX.022-346-2820
小山会場 | 栃木県小山市栗宮548 TEL.0285-45-1555 / FAX.0285-45-8446
AI-TRADER | 栃木県小山市栗宮548 TEL.0285-45-1561 / FAX.0285-45-7772
建機会場 | 栃木県小山市神鳥谷2259-9 TEL.0285-39-8818 / FAX.0285-39-8851
ベイサイド会場 | 神奈川県川崎市川崎区東扇島90 TEL.044-288-7788 / FAX.044-288-0080
福岡会場 | 福岡県古賀市青柳132-16(KCAA福岡内) TEL.092-940-2705 / FAX.092-940-2718
東京本部 | 東京都中央区日本橋2-1-14 TEL.03-5204-2520 / FAX.03-5204-2370
ARAI-PARTS | 日本橋加藤ビルディング10階 TEL.03-5204-2521 / FAX.03-5204-2371